

# 史 跡 福 山 城 XVII

平成11年度 発掘調査概要報告

2000・3

北海道松前町教育委員会



## 例 言

1. 本書は、平成11年度に松前町が実施した史跡福山城環境整備事業にともなう遺構確認調査の概要を報告するものである。
2. 本調査は、平成12年2月から平成11年3月迄の間、次の体制で実施した。

調査主体者：松前町教育委員会 教育長 成 田 稔

調査担当者・調査員： 調査係長 前 田 正 憲

調査事務局：松前町教育委員会文化財課

調査作業員：小川三紀子、河田敬子、槻館正子、東館まり子、皆月ユキ、

三浦文子

3. 本書の編集、執筆、写真撮影は前田があたった。
4. 実測図等の作成・トレースは河田があたった。
5. 調査期間中、次の諸機関各位からご指導・ご助言をいただいた。

(敬称略、順不同)

文化庁記念物課：本中眞・平澤毅・磯村幸男、奈良国立文化財研究所：加藤允彦、北海道教育庁文化課：貫井隆三、昭和女子大学：平井聖、元神戸芸術工科大学：近藤公夫、元国立資料館：浅井潤子、東京大学：渡辺達三、札幌学院大学：桑原真人、札幌市立高等専門学校：大萱昭芳、北海道開拓記念館、佐賀県立九州陶磁文化館、有田町教育委員会

6. 調査に関する諸記録、資料は松前町教育委員会が保管する。

## 目 次

|              |   |             |   |
|--------------|---|-------------|---|
| 例言・目次 .....  | i | Ⅲ まとめ ..... | 5 |
| Ⅰ はじめに ..... | 1 | 報告書抄録 ..... | 6 |
| Ⅱ 調査結果 ..... | 3 | 写真図版 .....  |   |

## 表 目 次

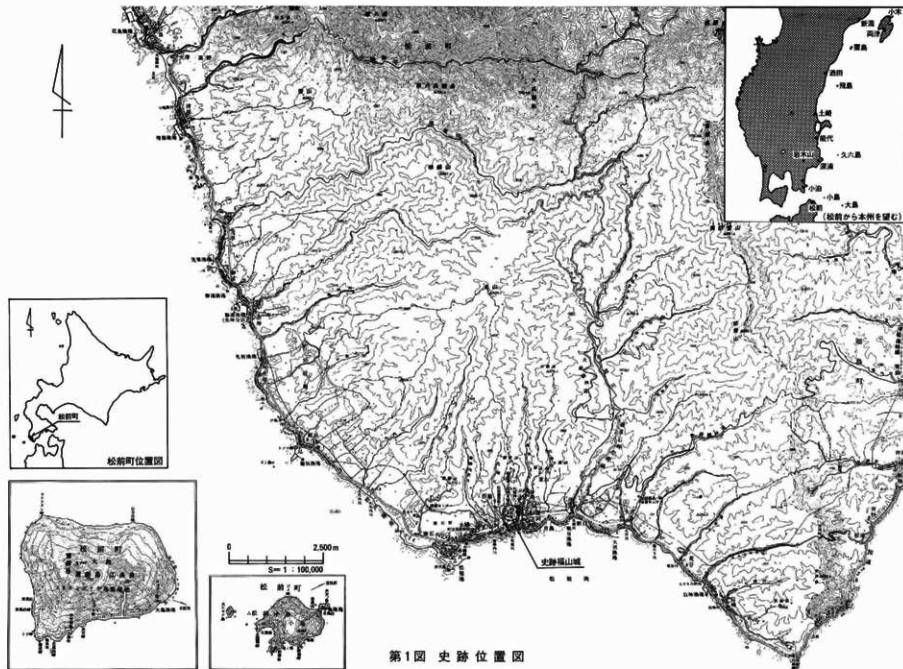
|                   |   |                   |   |
|-------------------|---|-------------------|---|
| 第1表 出土遺物集計表 ..... | 1 | 第2表 出土遺物観察表 ..... | 5 |
|-------------------|---|-------------------|---|

## 挿 図 目 次

|                        |    |                   |   |
|------------------------|----|-------------------|---|
| 第1図 史跡位置図 .....        | ii | 第3図 六番台場実測図 ..... | 4 |
| 第2図 調査区位置図・外堀実測図 ..... | 2  | 第4図 線図対比図 .....   | 5 |

## 図 版 目 次

|                   |   |                   |    |
|-------------------|---|-------------------|----|
| 図版1 外堀(1) .....   | 7 | 図版4 六番台場(2) ..... | 10 |
| 図版2 外堀(2) .....   | 8 | 図版5 出土遺物 .....    | 11 |
| 図版3 六番台場(1) ..... | 9 |                   |    |



第1圖 史跡位置圖

# I はじめに

## 1. 調査の経緯

史跡福山城の遺構確認調査は、昭和55年度から開始し今回で18回目を数える。これまでの調査により種々の遺構の位置・構造が以下のように明らかになってきた。

| 年 度    | 調 査 地 点         | 確 認 遺 構                                        | 調査面積   |
|--------|-----------------|------------------------------------------------|--------|
| 昭和55年度 | 試掘12箇所          | 内堀・外堀                                          | 146㎡   |
| 昭和58年度 | 本丸              | 内堀・空壕                                          | 270㎡   |
| 昭和59年度 | 本丸              | 内堀・空壕                                          | 850㎡   |
| 昭和60年度 | 本丸              | 本丸表御殿                                          | 188㎡   |
| 昭和61年度 | 本丸              | 勝手門・御多門                                        | 170㎡   |
| 昭和62年度 | 本丸              | 本丸表御殿・排水溝                                      | 890㎡   |
| 昭和63年度 | 本丸              | 本丸表御殿・西堀石垣・排水溝                                 | 1,500㎡ |
| 平成元年度  | 本丸              | 本丸表御殿・西堀石垣・西土手・西門跡<br>御導場跡・地下蔵様遺構・空壕跡・外堀       | 1,800㎡ |
| 平成2年度  | 本丸              | 南西隅構・杭列・井戸・外堀                                  | 300㎡   |
| 平成3年度  | 三ノ丸東部           | 石垣・外堀・馬板周辺石垣                                   | 200㎡   |
| 平成4年度  | 三ノ丸東部           | 外堀・馬板門・橋・御鉄砲置所・御番所・<br>七番御台場・土居・東部石垣・杭列・側溝・水路跡 | 1,980㎡ |
| 平成5年度  | 三ノ丸東部           | 外堀・三本松土居・天神坂門                                  | 1,172㎡ |
| 平成6年度  | 三ノ丸東部           | 二重太鼓櫓・土蔵・土居・掘手門                                | 1,600㎡ |
| 平成7年度  | 東郭・二ノ丸<br>三ノ丸東部 | 二重太鼓櫓・隅櫓・五番・六番台場・東郭土居・<br>三ノ丸土居                | 1,095㎡ |
| 平成8年度  | 東郭・二ノ丸          | 番所・追手門・追手形石垣                                   | 569㎡   |
| 平成9年度  | 二ノ丸             | 二ノ丸番所・追手形石垣・外堀                                 | 1,161㎡ |
| 平成10年度 | 三ノ丸             | 外堀・一番二番台場・馬出門                                  | 530㎡   |
| 平成11年度 | 三ノ丸             | 外堀・六番台場                                        | 100㎡   |

以上のように各年度の調査を終了してきた。調査にあたっては、平成2年度から史跡整備検討委員会を設け指導・助言をいただいております。平成3年度の調査で二ノ丸三ノ丸南東部の遺構の保存状態が良好であったことから、この方面の集中調査についてご指導を得て、順次二ノ丸三ノ丸地域についての調査を継続している。

## 2. 調査の目的と成果

今年度の調査は、史跡整備検討委員会でご指導いただいた、外堀部、六番台場を対象に、整備復元のための基礎データを得るための遺構確認調査を行なった。

今年度調査確認した遺構は以下のとおりである。

- 1) 外堀部 石垣
- 2) 六番台場 根掘り

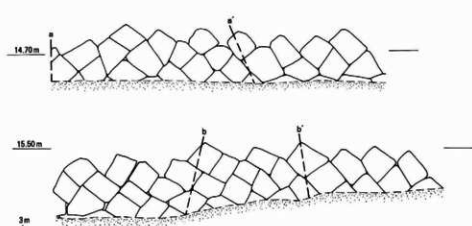
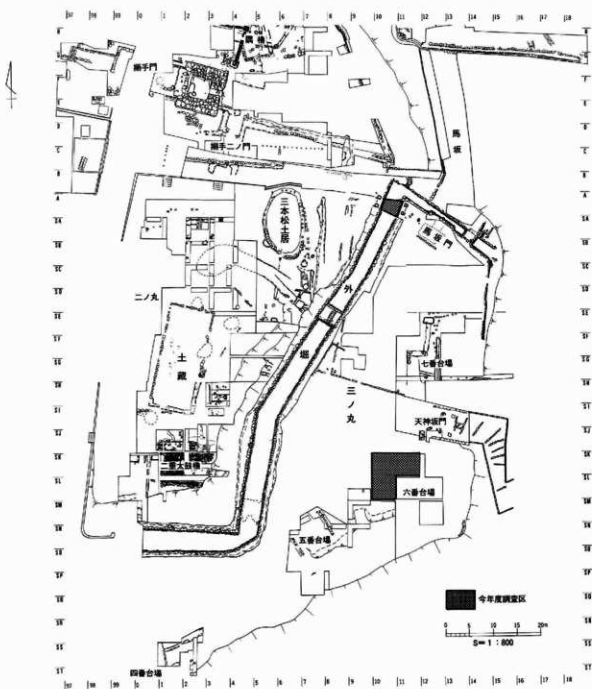
## 3. 調査の方法

本年度の発掘調査区は、従来の調査区の呼称を継続して使用し、整合性を図っている。出土した遺物は、各層位毎に取り上げ、遺構については、平面図・断面図・立面図を必要に応じて作成した。

本年度の発掘調査は2月28日から開始した。遺構調査は、六番台場部から開始し、堀め戻しまですべて人力で行った。つぎに外堀部を重機で掘削し、詳細を人力で行い、3月8日までに全ての作業を終了した。整理作業は3月9日から開始し、3月31日に終了した。

|         | 磁 器 | 陶 器 |
|---------|-----|-----|
| 碗 類     | 16  | 1   |
| 皿 類     | 16  | 1   |
| 鉢 類     | 1   | 1   |
| 徳 利 類   | 1   | 6   |
| そ の 他   | 9   | 21  |
| 瓶 類     |     | 1   |
| 壺 類     |     | 4   |
| 摺 鉢     |     | 8   |
| 瓦 類     | 8   |     |
| 金 属 製 品 | 2   |     |
| 土 器 石 器 | 1   |     |
| 合 計     | 94  |     |

第1表 出土遺物集計表



第2図 調査区位置図・外堀実測図

## Ⅱ 調査結果

### 1. 出土遺構

今年度の調査区から出土した遺構は以下のとおりである。

#### 1) 外堀

K.W.: 落とし積み、

##### ○抄録

今年度の調査によって、史跡南東部の外堀全体を発掘し終えた。調査した外堀の西面は地山岩盤を削り、東面は盛り土を行なっている。

今年度は、木橋と石橋の中間部分にわずかであるが未調査部があったので、これを調査した。外堀の底面は、グリーンタフの砕片が散在する黒色土が薄く堆積し、その下位はローム層が堆積する。石垣の裏側の土層堆積状況は、二の丸側（b-b'）では堀石垣の本来の天端付近から地山岩盤を削り込んでいる。したがってこの付近の堀底は、石垣を組んだ後にロームを叩き締めたものと考えられる。三の丸側は上半が盛り土で下半が自然堆積のローム層である。上半の盛り土中に福山館期の表土面があり、さらに、ほぼ現況のG. L. が福山城期の表土面であることが、過去のこの付近の平場の発掘調査から考えられる。

#### 2) 六番台場

K.W.: 石垣根掘り

##### ○抄録

「線図(仮称)」から想定した位置付近に六番台場石垣根掘りを発見した。

史跡整備の關係上、六番台場遺構の有無を確定するため、発掘調査平面図と「線図(仮称)」(普請の実施設計平面図と考えられるもので縮尺1/60で描かれている。)を比較し検討した結果、未調査区に所在する可能性のあることが判明した。発掘調査の結果、福山城期と思われる砂利の詰まった浅い窪みが発見された。線図と出土遺構の対比図(第4図)をみる。この図は、天神坂門門柱と両側石垣の方向、そして外堀の方向をそろえるようにした。すると、外堀の堀幅と延長が異なり、五番台場の向きと幅が異なっていることが判る。他にも重ね合わせ方があろうが、ここで云えることは施工段階で設計変更が行なわれていることで、今回出土した根掘りもそうした一例である可能性が高いと考えられる。こうした事例はこれまで出土した多くの遺構と「線図」「福山城見分図」との対比で、かなり明らかになっている。(「史跡福山城保存整備基本設計書」1999.3)



「福山城見分図」(丸印今回調査地)





## 2. 出土遺物

下表に主な出土遺物を紹介する。

| NO | 出土地区 | 器種  | 種別 | 産地 | 年代    | 文様・その他                         |
|----|------|-----|----|----|-------|--------------------------------|
| 1  | SK11 | 碗   | 磁器 | 肥前 | 18世紀末 | 見込み花卉                          |
| 2  | SK11 | 碗   | 磁器 |    | 幕末    | やや端反り                          |
| 3  | SK11 | 皿   | 磁器 | 肥前 | 19世紀  | 型押し                            |
| 4  | SK11 | 鉢   | 磁器 |    | 幕末    | 外国の海軍軍服を着て、サーベルを右手に下げた人物が描かれる。 |
| 5  | SK10 | 小鉢  | 磁器 |    | 幕末    |                                |
| 6  | SK11 | 徳利  | 磁器 |    | 幕末    |                                |
| 7  | SL10 | 碗   | 磁器 |    | 幕末・明治 |                                |
| 8  | SL10 | 湯呑み | 磁器 |    | 明治    | 「東二精製」の銘                       |
| 9  | SK10 | 土瓶  | 陶器 |    | 幕末・明治 |                                |

| NO | 出土地区 | 器種 | 規格(mm)    | 重さ(g) | 材質    | 年代   | 文様・その他                                                                  |
|----|------|----|-----------|-------|-------|------|-------------------------------------------------------------------------|
| 10 | SK10 | 薬莢 | 25.4×14.6 | —     | 真鍮・黄銅 | 幕末明治 | 「開陽丸」(1982)によれば、弾径15mmの薬莢式後装銃は、1866スナイドル銃とガットリング機関銃が考えられるとしている。(pp.179) |
| 11 | SK10 | 薬莢 | — ×15.1   | —     | 真鍮・黄銅 | 幕末明治 |                                                                         |

第2表 出土遺物観察表

## Ⅲ ま と め

以上のように今年度の遺構確認調査を終了した。今年度の「ふるさと歴史の広場」事業は、石垣・高欄付木橋・石橋の各復元を行なった。これにより、三本松土居廻りの土居石垣が姿を現し、城郭遺構の迫力が再現されつつある。



第4図 線図対比図

# 報告書抄録

|                     |                                                          |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
|---------------------|----------------------------------------------------------|-------------------|---------|-------------------|-------------------|-----------------------|-------------------|---------|
| ふりがな                | しせきふくやまじょう                                               |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| 書名                  | 史跡福山城ⅩⅢ                                                  |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| 副書名                 | 平成11年度発掘調査概要報告                                           |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| 巻次                  |                                                          |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| シリーズ名               |                                                          |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| シリーズ番号              | ⅩⅢ                                                       |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| 編集者名                | 前田正憲                                                     |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| 編集機関                | 松前町教育委員会                                                 |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| 所在地                 | 北海道松前郡松前町字神明30番地                                         |                   |         |                   |                   |                       | TEL. 01394-2-3060 |         |
| 発行年月日               | 平成12(2000)年3月31日                                         |                   |         |                   |                   |                       |                   |         |
| ふりがな<br>所収遺跡名       | ふりがな<br>所在地                                              | コ ー ド<br>市町村 遺跡番号 |         | 北緯<br>° ' "       | 東経<br>° ' "       | 調査期間                  | 調査面積<br>㎡         | 調 査 原 因 |
| しせきふくやまじょう<br>史跡福山城 | ほっかいどうまつまへ<br>北海道松前<br>くみまつまへようあづ<br>郡松前町字<br>まつしろ<br>松城 | 01331             | B-02-53 | 41度<br>25分<br>38秒 | 140度<br>6分<br>41秒 | 20000228<br>～20000308 | 100               | 史跡整備事業  |
| 所収遺跡名               | 種 別                                                      | 主な時代              | 主 な 遺 構 |                   | 主 な 遺 物           |                       | 特 記 事 項           |         |
| 史跡福山城               | 城跡                                                       | 幕末                | 外堀、六番台場 |                   | 幕末陶磁器             |                       |                   |         |

1. ▷重機により外堀を掘削している状況。



2. ▷人力で両側の土砂を落とし重機ですくい上げる。



3. ▷大方すくい上げた後、右垣面を丁寧に掘り出す。足元の黒色土が掘底面である。



1. ▷外堀三ノ丸隅石垣



2. ▷外堀三ノ丸隅石垣



3. ▷外堀三ノ丸隅石垣：岩盤の  
削り出し面が、石垣後方に見える。



1. ▷調査開始状況：まず雪掻きから始まった。



2. ▷中央の黒色土面が福山城期地表面である。(北から)



3. ▷調査状況



1. ▷SL1.0区から砂利の詰まった浅い窪みが発見された。  
（東から）



2. ▷近代コンクリート基礎の右側黒っぽく見える所に砂利が詰まっている。（北西から）

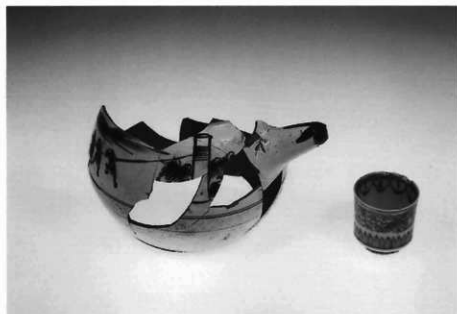


3. ▷この浅い窪みは、近代のものではなく、絵図等から六番台場石垣根廻りである可能性が高い。  
（北から）

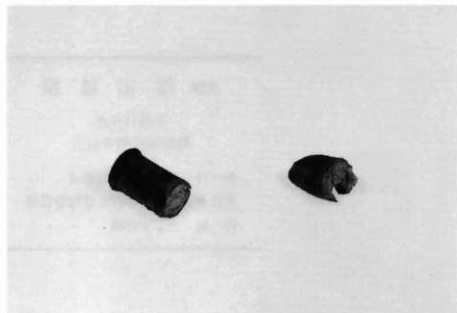




(1~7)



(8, 9)



(10, 11)

---

史跡 福 山 城 XVII

平成11年度  
発掘調査概要報告

発 行：平成12年3月31日  
発行者：北海道松前町教育委員会  
印 刷：カジャ印刷

---







**史跡福山城XVII**  
**平成 11 年度 発掘調査概要報告**  
**電子版**

2025 年 1 月 31 日 第 1 刷

発行者 北海道松前町教育委員会

〒049-1594 北海道松前郡松前町字神明 30

TEL:0139-42-3060 / FAX:0139-42-2211

WEB:<https://www.town.matsumae.hokkaido.jp/bunkazai/>

MAIL:[bunkazai@town.matsumae.hokkaido.jp](mailto:bunkazai@town.matsumae.hokkaido.jp)

底本：史跡福山城XVII 平成 11 年度 発掘調査報告書  
(2000 年 北海道松前町教育委員会発行)

この電子書籍は閲覧を目的としているため、不鮮明な図版や誤字が含まれる場合があります。必要に応じて、お近くの図書館等で底本をご利用ください。